

第354号

2018年
9月25日

月1回25日発行

げんぱつ

原発住民運動情報

発行所 原発問題住民運動全国連絡センター
発行人 中村敏夫/1部300円 年間3,000円
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-11-13
MMビルII 402
TEL 03-5215-0577 FAX 03-5215-0578
郵便振替 00150-7-355202
ホームページ <http://genpatu.com/index.html>
メール=genpatu-jumin-c@nifty.ne.jp

北海道電力管内 ブラックアウト

電力過半供給の苦東厚真火力直撃 泊原発再稼働固執で対策怠る

九月六日午前三時八分に発生した北海道胆振地方中等部の地震の影響で北海道電力管内の水力を含む管内の全電源が三時二十五分までに停止（ブラックアウト）して電力の需給バランスが崩れ、全域（約二百九十五万戸）停電に至った。電力十社設立以来、初めての事態となった。

地震時に稼働中の苦東厚真発電所（厚真町）の火力三基（計百六十五万kw）のうち二基が自動停止（三時八分）。地震前の電力供給約三百十兆の約四割弱が一気に失われたが、強制停電（一度目）と本州からの電力融通（北本線II最大容量六十万kw）開始で需給バランス回復（三時九分十一分）。照明などの使用増で需給バランス不安定へ（三時十一分）。他の火力の出力アップで概ねバランス回復（三時十八分二十一分）。苦東厚真で唯一発電を続けてい

た一基が地震損傷で出力低下。二十二分に二度目の強制停電実施。バランスやや回復したが二十五分に停止。三度目の強制停電実施したが効果なくブラックアウトに至った。泊原発（北海道泊村）は、泊村は震度2であったが、一時、すべての外部電源を喪失。同日午後一時までに復旧したとする。泊1〜3号機は運転停止中。原子炉から全核燃料を取り出し、使用済み燃料プールで冷却。外部電源喪失後、非常用ディーゼル発電機計六台を起動し、冷却を行う。外

部電源の復旧は同日午後一時だった。今回ブラックアウトをめぐって泊原発を再稼働していれば回避できたとする世論工作が行われている。しかし、実体はその逆である。電力供給の過半を一火力に担わせることは初めから停電リスクを背負わせているようなもの。北電には当然、リスク分散の対策が急がれた。それを北電は泊原発再稼働に固執して対策を怠ってきた。それが今回ブラックアウトの最大要因である。また、苦東厚真火力を襲った地震は未知の活断層によるとされる。泊原発には活断層の存在が指摘されている。泊原発が今回地震規模のものに襲われれば、今回の災害どころではない。

再生可能エネルギー開発は、小さなエネルギーを集めて山となす発想での取り組みが必要である。「五月雨を集めて早し最上川」方式である。ローカルエネルギー・ネットワークの構築が不可欠である。●ローカルエネルギー・ネットワークの中軸となるべきは地方自治体である。世界では、ドイツのフライブルク市の取り組みは、早くから知られている。日本でもこの取り組みをすすめている自治体は少なくない。また、電力会社はその先頭に立っているとこもある。米カリフォルニア州のサクラメント電力公社は典型である●この十一月に「全国交流集会」を開催する柏崎市

の取り組みも注目される。消化ガス発電、小水力発電の取り組みである。柏崎市はかつては石油発祥の地であり、それが世界最大の原発の地となり、いま、新たなエネルギーへ挑戦する。



●再生可能エネルギー開発は、小さなエネルギーを集めて山となす発想での取り組みが必要である。「五月雨を集めて早し最上川」方式である。ローカルエネルギー・ネットワークの構築が不可欠である。●ローカルエネルギー・ネットワークの中軸となるべきは地方自治体である。世界では、ドイツのフライブルク市の取り組みは、早くから知られている。日本でもこの取り組みをすすめている自治体は少なくない。また、電力会社はその先頭に立っているとこもある。米カリフォルニア州のサクラメント電力公社は典型である●この十一月に「全国交流集会」を開催する柏崎市

「全国交流集会 in 柏崎」

●新しいエネルギーのまち 現地ツアー
*十一月十日(土) 十一時半 JR 柏崎駅南口(駅裏集合・バス出発)
●懇親交流会
*十一月十日(土) 午後六時半 宿舎メトロポリタン松島
●全国交流集会 in 柏崎
*十一月十一日(日) 午前十時〜午後四時
*「柏崎産業文化会館」(柏崎市駅前2-2-45)

○トリチウム汚染水処理の説明・公聴会への文書意見(二面)
○原子力機構 研究用フルトニウム四・六海外処分検討(二面)
○平和と非核化で「共同宣言」 第二回南北首脳会談(五面)

○トリチウム汚染水処理の説明・公聴会への文書意見(二面)
○原子力機構 研究用フルトニウム四・六海外処分検討(二面)
○平和と非核化で「共同宣言」 第二回南北首脳会談(五面)